

水沢山山行報告

【山行日】 2015年 4月 26(日) 快晴

【集 合】 岩舟支所P AM 6:30

【費 用】 マイカー2台 : 1,700円

【メンバー】 CL:鈴木、大西、石田、香川、島田、関、津佐、藤原、中田、

【コースタイム】岩舟支所P6:30＝水澤観音
P7:40/7:55～石仏群 9:30～水沢山
9:45/10:00～林道出合 10:20～船尾滝
11:35/12:10～水沢観音P12:50/13:00＝
岩舟支所P15:00

足尾植樹祭の次日なので、比較的楽に歩ける山として水沢山を計画した。

この時季は、水沢観音の桜が見事なので計画したが、ソメイヨシノは見事に葉桜になってしまったが、八重のボタン桜が見頃で目を楽しませてくれた。



水沢観音で安全登山の祈願をして出発し、水沢観音のすぐ先を右側に急な石段を登って行く。

飯綱大権現の脇を通り、万葉の歌碑がある万葉苑を抜け登山道に入る。少し先で駐車場からの道と合わさり、しばらく林道を歩くようになる。

標識に従って右に山道に入ると、芽吹いたばかりの新緑が陽光を受け、なんとも清々しい登山道をゆっくり登って行く。満開の山桜が出迎えてくれ、足元にはタチツボスミレやエイザ

ンスミレが目を楽しませてくれる。階段状の急登に疲れた頃、広く平らな「お休み石」と標識がある広場に着く。休憩をとり、リンゴと菓子をいただき、水分を補給する。

ここからはさらに急な登りとなり、急坂をあえぎながら登る。時折イカリソウやトウゴクミツバツツジの花に、疲れを癒されながら登り、なだらかな尾根に登り上げると石仏群が出迎えてくれる。

ここからは谷川連峰や子持山、小野子山等の上信越の山々が一望できる。尾根を進み、ツツジの間登山道を登ると三等三角点がある水沢山の山頂に出る。山頂からの眺望は素晴らしく、東に日光連山や赤城山、南には八ヶ岳や西上州の山々、西から北には草津白根、苗場山、谷川連峰の山々と360度のパノラマを堪能できる。眺望を楽しみな



がら、コーヒーとバームクーヘンをゆっくりといただく。山頂からは、反対側の伊香保森林公園へ向かって下る。



ヤセ尾根を慎重に下ると、防災無線中継局のアンテナがあり、建屋から右側に降りて行くとやがて林道上野原線に出る。林道を左に進み、大きくカーブしたところの「榛名県有林」の標柱を目印に、左の尾根を降りて行く。

植林帯の尾根を上り下りすると、やがてカラマツの植林帯に変わり、芽吹いた樹間から登った水沢山が良く見える。「エ〜あんなところを登ったんだ。」と皆さん満足そうに見上げていた。

標識に従って、船尾滝方面に進み尾根から急降下して、ガレ沢を渡ると林道に出る。林道を九十九折れに下ると、立派な仏像が安置されその先の階段を上がると船尾滝入口の東屋に着く。

ここでランチタイムになり、いつものうどんとトマトやキュウリ、筍とフキの煮物等々美味しくいただく。初めての人は、船尾滝の滝壺まで周遊コースを散策する。滝からはしばらく林道歩きとなり、桜は終わっていたが、山桜やボタン桜が満開でとても美しい。

船尾滝駐車場手前から、左に戻るように登山道へ入るが、通行止めのロープが張られている。



前回通った時に、それほど危険箇所は無かったので、自己責任で通過することにしました。沢を渡り、立派な鉄の階段を登ると斜面をトラバースする道になり、小沢を渡る箇所が崩落しているが、スタンスはしっかりあり、慎重に通れば問題なく通過できる。そのまま道なりに下ると水沢観音への道にぶつかり、左折して少し登ると水沢観音に出る。水沢観音の六角堂でお参りしようと寄ったが、観光客が沢山並んでいるので諦める。

駐車場に戻り、地元の直売所で買い物をして帰路につく。

途中、道の駅「みかも」でお買い物をしたが、予定よりも早く岩舟支所へ着くことが出来た。